

学ぶ力と意欲を備え、ともに高め合う教育の創造
学校だより



令和2.6.1

朝来市立和田山中学校 <http://www.asago-city.ed.jp/wadayama-jhs>

自立・敬愛・創造



正面玄関マゼット

感染拡大は収束するも、終息はまだ！

「収束」・・・物事の混乱していた状態が、一旦落ち着くこと
「終息」・・・物事がひとまず完全に終わること

5月21日からの分散登校を経て、本日から学校再開となりました。この一週間は、学年を6クラスに分けて編成し、3密対策と午前中のみの登校となります。通常の教室とは違う教室になった生徒の皆さんには、不便をかけて申し訳ありませんが理解をお願いしたいと思います。授業は午前中のみとなりますので、生徒の皆さんも、まずは感染予防に心がけた「学校の新しい生活様式」を意識してほしいと思います。今、但馬地域は国が示す地域の感染レベルで「レベル1」に相当します。感染拡大はなく収束している状態ですが、ウィルス自体は、いつ、どこに、どのように存在するかわかりません。つまり終息はしておらず、ウィルスとともに生きていく社会であるということです。気を緩めず、たとえ感染しても、感染拡大とならないようにするための生活をしていくことが大切です。学校生活を継続させていくために、皆さんと共に「学校の新しい生活様式」を実践していきましょう。



「学校の新しい生活様式」

◎レベル1の行動基準

- ・十分な感染症対策を行った上で教育活動を実施
(手洗いや咳エチケット、換気、身体的距離の確保等)

◎基本的な感染症対策

- ・登校前後、各教室や各器具、ドア等の消毒
- ・登校時、生徒玄関での手指消毒
- ・各トイレや各教室等への手指消毒設置
- ・毎朝の検温チェック
- ・マスクの着用(予備の持参)
- ・教室の換気
- ・人との間隔1m以上

◎手洗いの6つのタイミング

- ・外から教室に入る時
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- ・給食の前後
- ・掃除の後
- ・トイレの後
- ・共有のものを触ったとき



和の志をもって、願いを成す

登校可能日の様子

3回の登校可能日では、全学年とも個人面談を実施し、休校期間中の生活について話を聞きました。生徒がどのように過ごしていたかわかり、これからの学校生活のスタートに向けて、生活のリズムを立て直していく機会になったと思います。また、様々な悩み相談もでき、心の整理や前に進む意欲づくりができたと思います。配布していた課題の質問や、授業に向けてのガイダンスなどもでき、再開後の授業のスタートがスムーズにできるようにしました。特に、1年生では中学校生活のスタートにあたり、校舎見学や職員室への入り方などをしました。お互いの人間関係については、マスクでなかなか表情が読み取れませんが、良いコミュニケーションが取れるように校訓の「敬愛」の心を持って積み上げていってほしいと思います。



正面玄関へ花

◎ 職員の紹介 ◎

6月より家庭科の盛岡千裕先生が復帰されました。2年生の数学の補助として山中茂次先生が着任されました。2年生の社会の長澤先生が研修等で出張時に小谷好弘先生、保健室の岸本先生が、出張で不在時に藤尾桂子先生が代わりに来られます。どうぞよろしくお願いいたします。